

中野鈴子 詩人。中野重治の妹。兄の活動に巻き込まれ、結核で帰郷療養、<敗戦>とともに、農民詩人として活動。

なかのすずこ

満鉄発足・1906 = 福井県坂井郡高椋村で、自作農兼小地主の中野藤作の長女に生まれる。母はとら。\_作家中野重治の妹。

明治天皇没・1912 = 6歳 :

21ヶ条要求・1915 = 9歳 :

高椋西尋常小学校を卒業して、坂井郡立女子実業学校に入学。

この間、長兄が死去。次兄重治が第四高等学校に入学。

原敬首相暗殺 1921 = 15歳 :

卒業。

水平社結成・1922 = 16歳 :

室生犀星の詩を読んで感動、

関東大震災・1923 = 17歳 :

金沢市の重治の下宿に住んで、兄の世話をし、

護憲三派圧勝 1924 = 18歳 :

重治の東京帝大入学とともに、実家に戻り、

治安維持法・1925 = 19歳 :

結婚して福井市に出るが、婚家の質屋という職業が許せず、離婚。

円本時代始・1926 = 20歳 :

父に強いられて三国町の人と再婚するも、再び離婚。

共産党事件・1928 = 22歳 :

同人雑誌に短歌が掲載される。

世界恐慌・1929 = 23歳 :

上京。重治のもとに身を寄せて早々、兄の友人検拳の巻き添えで一晩留置。

海軍軍縮条約 1930 = 24歳 :

思い切って犀星を訪ね、師事し生涯交誼。逮捕された小林多喜二への差入れなどの救援活動を開始。

満州事変・1931 = 25歳 :

ナップに加入。

五一五事件・1932 = 26歳 :

宮本百合子・佐多稲子らと{働く婦人}を編集し、東北地方飢饉地帯実情報告を発表。兄が検拳され入獄、

国際連盟脱退 1933 = 27歳 :

帝人疑獄事件 1934 = 28歳 :

兄の出所後も東京に留まり、下宿で一人暮らし、

二二六事件・1936 = 30歳 :

一田アキの筆名で詩や小説を{女人芸術}{戦旗}などに書いて生活する一方、結核に罹り、

日中戦争始・1937 = 31歳 :

療養のため、帰郷して農業に従事する。

次第に回復し、詩も書き続ける。

日米開戦・1941 = 35歳 :

父が死去。

..... 1942 = 36歳 :

敗戦..... 1945 = 39歳 :

{新日本文学会}創立とともに、福井県から唯一人参加、

新憲法公布・1946 = 40歳 :

\_日本共産党に入党。

三大事件..... 1949 = 43歳 :

{新日本文学会福井支部}を結成し、

独立回復・1951 = 45歳 :

機関誌{ゆきのした}を創刊。再度上京するも、すぐに帰郷し、農業生活。

この間、{現代詩}{詩学}{文協}などにも詩を発表し、農民詩人として生き、

自衛隊発足・1954 = 48歳 :

子宮筋腫で摘出手術受け、以後、病苦のなか、

55年体制始・1955 = 49歳 :

詩集「花もわたしを知らない」を出版。

国連加盟..... 1956 = 50歳 :

2度目の手術、

なべ底不況・1957 = 51歳 :

3度目の手術のため、遺書を書いて上京、4度目の手術受けてまもなく、

インスタラマ・1958 = 52歳 :

没した。

没後「中野鈴子全著作集」2巻が刊行された。